

大野一心

NO.17

令和3年10月21日（木） 文責：校長 諸熊 修一

校内合唱コンクールを開催しました

昨日、校内合唱コンクールを開催しました。今年度は8月中旬から9月にかけての新型コロナウイルス感染症拡大のため、十分な練習ができませんでしたが、当日まで、昼休みや放課後など時間を惜しんで各学級とも練習に励んでいました。校舎内に歌声が響くこの時期になると、秋の深まりを感じさせられるとともに、生徒たちの歌声に心がほっこりとさせられます。当日の合唱はリハーサルの時と比べると、各学級とも格段の出来栄でした。



特に3年生は、発表の前に各学級で円陣を組み、声を出して、みんなで一致団結していた姿が印象的でした。その姿を見て、副校長先生とは自分たちが担任をしていた頃の学級の思い出話で盛り上がりました。本来ならば、金賞を受賞した学級は11月に予定されていた「アルカス佐世保」で開かれる市中学校音楽発表会に出場するはずでした、しかし、発表会がコロナ禍のために中止となってしまい、3年生にとっては中学校生活最後のチャンスだったので、そのことがとても残念に思います。

2年生、1年生もすばらしい合唱でした。2年生は、男女とも声がよく出ていて、さすが2年生だなと思いました。1年生は、初めての合唱コンクールでとても緊張したと思いますが、初々しいハーモニーを響かせてくれました。来年度、再来年度の成長が今から楽しみです。また、どの学年も伴奏者と指揮者がとても上手で感心しました。それぞれが、それぞれの思いをもって、本番まで練習をしたのだと思います。

発表会が終了した後、生徒たちへのプレゼントとして、豊島先生のご尽力で審査員として来校していただいた西海学園高等学校の上尾先生と清峰高等学校の本多先生にミニミニコンサートを聞いていただきました。バイオリンの音色がとてもきれいで聞き入ってしまいました。最後は、大野小学校の永柄副校長先生に講評をいただいて、今年度の合唱コンクールを終えることができました。

合唱コンクール実行委員の皆さんは、準備や運営はもちろんですが、各学級で練習の中心となって活躍してくれたと思います。本当にお疲れ様でした。生徒の皆さんが、それぞれの持ち場でそれぞれが“きらり”とした活躍を見せてくれたことをとても嬉しく思います。

保護者の皆様におかれましては、コロナ禍の中、不自由をおかけしましたが、お忙しい中、来校していただきありがとうございました。

【合唱コンクール結果】（個人名は敬称略）

金賞	1年5・7組	2年3・7・8組	3年1組・8組
銀賞	1年3・8組	2年2・8組	3年4組
銅賞	1年4・7・8組	2年5・7組	3年3組
ベストコンダクター賞	1年：畑島 未来	2年：川原 栞	3年：藤 優大
ベストピアニスト賞	1年：光武 一華	2年：高浦 愛梨乃	3年：福野 伶

